

良くしたい！
地域環境くらし



日本共産党岡山市議会議員

菅原おさむ **通信**

こころ

2021年
8月議会
質問から

Vol.011

2021年10月24日

岡山市北区小山 109-1

電話 **086-287-5371**



南区の農業者が米価下落対策を求めて「軽トラデモ」(9/24)

米価下落に対策を取るよう国に意見書を出してほしいという陳情が、委員会では共産以外全員が反対して、不採択にされました。
陳情は、**①**政府が滞留在庫を買い取るなどとして、米価下落に歯止めをかけること、**②**生活困窮者や学生などへの食料支

コロナ禍で深刻な米価下落

対策を求める請願が日本共産党以外の反対で不採択に

援を欧米並みに強めること、**③**国内消費に必要なない外国産米の輸入を減らすことを求めています。

外国産米(ミニマムアクセス米)は、義務がないのに毎年77万トンも輸入しています。政府の今年6月の在庫予想は、適正水準を39万トン上回っており、輸入をやめれば国内の需給環境は改善できます。

菅原議員は、コロナ禍の長期化で米余りがさらに深刻化し、米価は3年連続下落して、今年は60キロ9000円台とも言われている中、この陳情は採択すべきだと主張しましたが、「国の政策だから」と不採択にされました。

国言いなりでは生産者の暮らしが守れないからこそ出された陳情なのに、市議会の役割を狭める他会派の議員の態度は、きわめて残念です。

危険な立木の伐採に助成制度を

答弁 「他自治体の制度について研究したい」

菅原議員は、大規模盛土と立木の問題で質問しました。(大規模盛土は中面参照)
危険な立木の問題では、民有地からはみ出した木が市道をまたいで自分の家に倒れそうになっている相談を受けていました。菅原議員は、間の市道の安全管理上の問題でもあると指摘し、他自治体の伐採支援の助成制度なども示して、事故

の未然防止の立場に立って対応するよう求めました。
市は、民間同士のことだとして何もできないうの立場を崩しませんでした。他自治体の制度を研究していくと答えました。また、市民からの相談件数を把握できていないことについては、今後はできるだけ記録を残していくと答えました。

交通弱者の運賃が半額に

高齢者、障害者へのバスと路面電車の運賃半額割引が始まりました。運転免許証の返納は必要ありません。党市議団は、高齢者や障害者の交通手段確保や負担軽減と、公共交通維持のための公費投入拡大を一貫して求めてきました。

夜間中学校開設へ

今まで十分な学びを得られなかった人への夜間中学校について、2025年度までの開設を目指すとして表明しました。



学習サポート事業の定員増

生活困窮世帯の子どもたちを対象にした子どもの学習サポート事業の定員が増えました。(公民館などでの集合型は150人→210人、オンラインなどの訪問・遠隔型は60人→90人)

国保証取り上げ行わない

国民健康保険の滞納者に対する「資格証明書」発行(保険証取り上げ)を今年度は行わないと市が表明しました。来年度以降も負担能力のある世帯以外には行わない方針です。



弁護士と無料法律相談

要予約 毎月第1～第4月曜日夕方に法律相談を行っています。

TEL **803-1707** (市議団)



北区 田中のぞみ



北区 菅原おさむ



中区 林じゅん



東区 竹永みつえ



南区 東つよし